

第 555 回 放送番組審議会

1. 日 時 2019 年 9 月 10 日 (火) 午後 1 時 30 分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6 階大会議室

3. 委員総数 9 名

出席委員 7 名

委員長	恒川 かおり
副委員長	大橋 綾子
委員	佐藤 健志
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝

欠席委員 2 名

委員	加藤 千晶
委員	高橋 司

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
青山 尚之	(専務取締役事業局長)
池田 学	(取締役経営企画局長 兼 技術局長)
柴柳 二郎	(報道制作局長)
桑島 広実	(報道制作局制作部部长)
廣嶋 文樹	(報道制作局制作部副部长)

事務局

畑山 篤	(取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長)
------	-------------------------

4. 議 題

1. 8/31(土)10:30~11:25 テレビ岩手開局 50周年記念番組

これが日本最強のネタ 決定！三陸の極上寿司

2.その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

- お米は銀河のしずくや、しょうゆ、わさびなど岩手にこだわったところもいいと思った。鮭は冷凍して寄生虫を殺すとか、天然と養殖のホヤのちがいがいい、ちょっとしたことだが勉強になった。
- 三陸の定番のサンマとかタラ、カニとかカキとかホタテなどが番組で出てこなかったのは、季節の問題か、あまりにも有名すぎて取り上げなかったのか、と思った。
- 場所のバランスからすると宮古とか山田あたりから何か出てもよかったかなという気がした。
- 出演者の方々もすごく好感が持てた。船越英一郎はもちろんだが、仲買人の3人、井戸田さんとおののかさんと、福山さん、とても品格のあるような感じでよかった。女性の寿司職人の方を起用したのが華があってよかった。
- 60分番組としては少し駆け足だった。冒頭の出演者が揃った会場の説明が後になっていて、番組の内容をダイジェストでやったあとに、井戸田さんのアナゴ獲りのロケに移っていったが、いきなりロケ映像だったので違和感があった。
- 本来三陸というのは八戸から石巻までということだが、一体で活動するケースが非常に少なく、そういう意味で三陸ブランドの向上に繋がっていない要因ではないかと思っている。そういう意味で今回、岩手にこだわらないで、気仙沼とか石巻の方を取り上げたのが正解と感じた。
- 10貫の選定ということで、花巻黒ぶだう牛をなぜ入れたのか、制作の意図はぜひ聞いてみたい。最後の場面で10貫選んだが、結局どれが落ちたのか一度見ただけではわからなくて、見直した。
- 10選にするというその意味合い。船越さんも「10選にしなくていいじゃないか」と番組内で言っていたが、わざわざ落とすというスタンスを入れなくても、おいしいものをこれだけ集めました、でもよかったのではないかな。
- 選ぶということに対する真剣さが、私には伝わらなかった。タイトルが特にけっこう強烈というか、“決定！三陸の極上寿司”と謳っていたし、選ぶということを聞いてしまったので、あれっという感じが否めなかった。
- 芸能人の方が獲ってみました、体験してみました、という企画だが、やはりプロの漁師さんや

海女さんの釣果を食べたいし、紹介していただきたかった。

- 一つ一つのネタについて生産者から「お願いします」と言っているのが、陸前高田の貝を育てている方からだけだったというのが気になっていて、それなら一つ一つのネタについて応援コメントを皆さんに発表していただくという形でもよかったのではないかな。
- あまり知られていない食材、エゾイシカゲ貝とか、アイナメも、お寿司屋さんではあまり食材としては出てこないかもしれないが、そういったおいしいものがまだまだある、と紹介いただけただということは、色々な情報の発信になっていたのではないかな。
- 番組を拝見したあとで、これは「船越英一郎が選ぶ“三陸の極上寿司”だったんだ」ということに気づいて、タイトルに違和感を感じた。
- 全国ネットで、これをきっかけに岩手や宮城に訪れる人が増えてくれて、そこで紹介していただいたものを味わっていただける人が増えるのであれば、すごくうれしいなと感じた。

局側意見

- 岩手発信とはいえ全国ネットなので、三陸を盛り立てたい、震災復興というようなことを考えると宮城の内容も入れたいという気持ちで入れた。
- カニやカキがないのは単純に季節の問題。これは冬場のものなので、この時期がなかったということである。
- 南部潜りのダイバーが獲るホヤ、エゾイシカゲ貝など、こんな獲り方をしているとか、こんなバックボーンがあるなど、企画構成・VTRで見せられるものがないと、なかなか視聴者の方に食いついてもらえないというところもあった。
- 委員から「フカヒレは食べてないんですか」という質問があったが、これは食べていたが、放送ではカットした。番組としてテンポが悪くなるということもあったし、コメントも他と似ていた。そういうことがあった。
- ネタが白っぽくて見栄えしないという感覚があり、牛肉が入っていたのは実はそういうこともある。これだけじゃ弱いんじゃないかというようなこともあり牛肉を入れたのだが、皆様おっしゃる通りちょっと異質ではあったので、三陸に拘るのであればそこはちょっと考える手もあった。
- 応援コメントに関しては、現場では全部撮っているのだが1時間ものとしては、削っていく作業の中で、エゾイシカゲ貝のところは震災復興という思いが強いところだったのでそこは活かしたという形で、不平等といえば不平等というのは確かにある。
- 10貫選ぶというゲーム性というのを最後まで見てもらえる仕掛けというところで我々は組んだのだが、本当のゲーム性というので言えば、ナンバリングして、どれとどれが入って、どれとどれが落ちてみたいところまでやればよかったかな、というのはスタッフ側でも反省点としてあった。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ① 自社放送 9月24日(火)11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」
- ② テレビ岩手本社での備え置き
- ③ 読売新聞への掲載(別添)
- ④ 自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>